

平成22年 1月 5日
丹後農業改良普及センター

暴風及び雪害対策の徹底について

気象庁の発表によりますと、近畿地方は冬型の気圧配置となり、本日5日夕方にかけて落雷や突風（暴風）に注意が必要です。

また、日本海側では10日頃まで冬型の気圧配置が続くため積雪や寒冷に対する警戒が必要です。

このため、農作物並びにビニールハウス等の施設の管理について事前の対策を実施してください。

【緊急に行っておくべき対策事項】

ビニールハウス等の施設野菜、花き

- ①パイプハウスについては、ハウス内に風が吹き込まないようにするため、被覆資材破損部は補強してください。
- ②ハウス内の保温対策を万全にしてください。具体的な対策として、内張やハウス内側サイドのカーテン設置（透明ビニール）と、ハウス用の石油ストーブの活用が有効です。

果樹

- ①雪害回避のため果樹園の防風ネットを外してください。
- ②棚利用の果樹では、枝折れを防ぐため枝の誘引をしっかりとってください。

【大雪になった場合の対応策】

ビニールハウス等の施設野菜、花き

- ①天井部からずり落ちた雪は、放置せずに速やかに除雪してください。パイプハウスは構造上、側面から雪による圧力が加わり、さらに降雪による天井部への重力が加わると倒壊しやすくなります。
- ②天井部に積もった雪は、ハウス内から棒などで揺すって速やかにずり落としてください。
- ③豪雪になりハウスの骨格が歪む恐れがある場合は、ビニールを内側から破る処置も必要になります。その場合はまず、JA及び普及センター、農業共済組合等の関係機関に相談してください。

